

がんばろう日本

～亀岡市は平成28年(2016年)熊本地震被災地の復興を支援します～

January 2018

広報No.657

キラリ 亀岡

■亀岡市の人口と世帯数

		平成29年 12月14日現在	平成28年 12月9日現在
人口		89,826人	90,446人
内訳	男	43,743人	44,060人
	女	46,083人	46,386人
世帯数		38,744世帯	38,498世帯

■主な内容

- 1ページ 亀岡のまちづくりは、新たなステージへ
- 2・3ページ 新春特別企画 かめおかのいいところ、詠みました。かめおかかるた
- 4ページ 第3回 京都亀岡ハーフマラソン ～ステージは京の奥座敷～

ほか

編集発行:亀岡市市長公室秘書広報課/〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地/☎0771-22-3131(代) ☎0771-24-5501

ホームページ <http://www.city.kameoka.kyoto.jp> 電子メール office@city.kameoka.lg.jp フェイスブック <http://www.facebook.com/kameokacity>

亀岡盆地を包む雲海と朝陽(竜ヶ尾山)



亀岡のまちづくりは、新たなステージへ



謹賀新年

亀岡市長 桂川 孝裕

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい年の初めをすがすがしい気持ちでお迎えのこととお喜び申し上げます。

私が市長就任時に「亀岡新時代」の幕開けを宣言し、2年が経過しました。以来、めまぐるしく変わる社会情勢の中で、厳しい状況の中であっても、柔軟な発想と積極的な行動、新しい価値観を持って進める「第4次亀岡市総合計画」夢ビジョン「後期基本計画」に基づく各施策に、日頃より深い御理解と御支援をいただき、心から感謝を申し上げます。

亀岡市は今まさに、未来に向けて大きな一歩を踏み出そうとしています。一昨年には、本市が東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたオーストリア共和国空手競技のホストタウンとして決定しました。そして昨年8月には、同国のザンクト・ペルテン市を訪問し、オーストリア空手連盟との友好協定を締結するに至りました。この協定により、同国の空手競技選手の事前合宿など、ホストタウンとしての取り組みを具体的に進めていくこととなります。他にもさまざまな交流事業を開催し、スポーツや文化を通じた友好の絆が一層、深まろうとしています。世界に目を向ければいまだ紛争が絶えない中で、平和を願い、祈り続けていくことを「世界連邦・非核平和都市」として宣言している亀岡市としては、こうした友好と信愛の心の連鎖が、世界平和の実現につながっていくことを願ってやみません。

また、亀岡盆地を覆う「朝霧」が、希望をもって大きな広がりを見せようとしています。写真にある情景は、亀岡が濃霧に包まれた早朝、上空から撮影したものです。私たちが営む日常生活の中で、頭上ではこのような神秘的な風景が広がっているのです。亀岡の、この大自然の息吹ともいえる風景を、私たちのふるさとの誇りとしてさらに多くの人に知っていただきたいと考え、「霧の芸術祭」の開催に向けて準備を進めています。市民の皆さまとともに、古民家などを地域の拠点として位置づけ、亀岡を文化や芸術の薫り高いまちとして醸成させていきたいと思っています。

京都府が本市に建設する「京都スタジアム(仮称)」が、いよいよ着工となります。自然との共生を打ち立てる中で、国の天然記念物アユモドキ保護、亀岡駅北土地区画整理事業との連携を図りながらのぎわい創出などのスタジアムがもたらす効果により、京都府南部と北部を結ぶゲートウェイとして位置する亀岡が、地域の均衡ある発展に大きな役割を果たすものとして期待が寄せられています。このような、未来に向けた着実な歩みにより、亀岡のまちづくりは新たなステージに入ろうとしています。そして、脈々と受け継がれる文化、歴史、保津川と里山が織り成す豊かな自然と結びつき、「選ばれたまち」・「住み続けたいまち」・新たな亀岡市の実現につなげてまいります。

新しい年の幕開けにあたり、皆さまのますますの御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

スマートフォンやタブレットで、雲海に包まれた亀岡の上空の旅をご覧ください。詳しくは3ページへ。